



平成26年2月19日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号：2788 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 近藤 則明
TEL (059) 347-3515

平成25年12月期通期業績予想と実績値との差異並びに 営業外収益・営業外費用に関するお知らせ

平成25年2月19日に公表しました平成25年12月期通期業績予想と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異

平成25年12月期通期業績予想数値との差異（平成25年1月1日～平成25年12月31日）業績予想数値の修正

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,563	835	565	163	1,308.04
今回実績値 (B)	31,024	747	19	50	404.78
増減額 (B-A)	2,461	△87	△545	△112	—
増減率 (%)	8.6	△10.5	△96.5	△69.1	—
(ご参考) (平成24年12月期)	24,099	△169	△563	△295	△2,369.19

2. 差異の理由

売上高並びに営業利益については、中国子会社の主力商品であるメルセデスベンツの販売台数が堅調に推移したことにより、ほぼ予想通りとなりました。

経常利益並びに当期純利益については、持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額230百万円を営業外費用に計上したことから、当初予想を下回る結果となりました。

その結果、前回発表予想と実績値に差異が生じました。

3. 営業外収益および営業外費用の計上について

為替相場の変動により、為替差益 83 百万円を営業外収益に計上しております。

なお、上記金額は当社グループが保有する外貨建て債権債務の期末換算レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。また、持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額 230 百万円を営業外費用に計上しております。

以上